

メルク社とサノフィ・アベンティス 動物用医薬品事業を個々に継続

米国ニュージャージー州ホワイトハウスステーション、フランス・パリ、2011年3月22日 - Merck & Co., Inc. (NYSE:MRK) (以下「Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.」)とサノフィ・アベンティス (EURONEXT:SAN および NYSE:SNY) は本日、サノフィ・アベンティスの動物用医薬品事業であるメリアル社と、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.の動物用医薬品部門であるインターベット/シェリング・プラウ社による動物用医薬品分野の合併事業に向けての取り組みを終結しましたのでお知らせいたします。この結果、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.とサノフィ・アベンティスは今後、現行の動物用医薬品の資産と事業をそれぞれに継続します。

2010年3月9日の統合計画の発表以来、両社は動物用医薬品分野の合併事業の創設に向けて、精力的に独占禁止法の審査を申請するなどの活動を行ってきました。今回、取り組みを終結した主な理由は、提案された統合作業で予測される売却の性質と規模、また世界各国の当局による審査プロセスに要する時間の両面が複雑化したことによります。Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.とサノフィ・アベンティスは、両社にとって、両社のステークホルダー、またメリアル社とインターベット/シェリング・プラウ社の社員にとって、この計画の終結が最善の策であると判断しました。

サノフィ・アベンティスは今後も動物用医薬品分野に注力し、その多様なヘルスケア事業の成長プラットフォームとしてメリアルブランドの下で事業を続行します。メリアル社は、動物用の医薬品とワクチンの研究、開発、製造と販売を行う、研究・開発主導型の世界有数の動物用医薬品企業です。2010年の年間売上高は26億USドルです。

Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.のインターベット/シェリング・プラウ社は、動物用医薬品の研究、開発、製造および販売を行う世界的リーディングカンパニーで、2010年の年間売上高は29億USドルです。Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.は今後も動物用医薬品事業に注力し、インターベット/シェリング・プラウ社に資本を投下してその革新的なポートフォリオの拡大に努めます。

統合に向けた取り組みの終結により、メリアル社とインターベット/シェリング・プラウ社は、今後それぞれに事業を続行します。取り組みの終結による違約金の支払いは発生せず、費用は各社が負担します。

以上

Merck & Co., Inc. について

Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.は、すこやかな世界の実現を目指して努力を続ける、グローバルなヘルスケア企業です。Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.社は米国とカナダ以外の各国ではMSDとして活動しています。医療用医薬品、ワクチン、生物学的療法および一般向けならびにアニマルヘルスケア製品の提供を通じてお客様と協力し、世界140カ国以上で事業を展開して革新的なヘルスケア・ソリューションを提供しています。さらに、さまざまなプログラムやパートナーシップを通じて医薬品を必要とする人々への製品寄付や供給を行い、医薬品へのアクセスを推進する活動に積極的に取り組んでいます。「Merck. Be Well.」詳細は、www.merck.comをご参照ください。

サノフィ・アベンティスについて

世界をリードする製薬企業の一社であるサノフィ・アベンティスは、医薬品の創薬発見・開発・販売を通じて、人々の生活の質の向上に取り組んでいます。サノフィ・アベンティスは、パリ (Euronext : SAN) およびニューヨーク (NYSE : SNO) に上場しています。詳細は、www.sanofi-aventis.comをご参照ください。

インターベット/シェリング・プラウ アニマルヘルス社について

インターベット/シェリング・プラウ アニマルヘルス社(本社:オランダ・ボクスメル)は、動物用医薬品の研究開発・製造・販売に従事しています。すべての主要な家畜およびコンパニオンアニマルについて、パフォーマンスを支える製品から病気を予防・治療・管理するための製品まで、幅広く革新的な動物用医薬品ポートフォリオをお客様に提供しています。インターベット/シェリング・プラウ アニマルヘルス社は、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.が完全所有する事業です。詳細は、www.intervet.com およびwww.merck.comをご参照ください。

メリアル社について

メリアル社は世界有数の革新的な動物薬企業であり、多くの動物の健康、福利、パフォーマンス改善に向け幅広い製品を提供しています。メリアル社は約5,600人の従業員を擁し、世界の150カ国以上に事業を展開しています。1997年に設立されたメリアル社は、動物用医薬品の分野でトップクラスの企業であり、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.とサノフィ・アベンティスが折半出資するジョイントベンチャーでしたが、2009年にサノフィ・アベンティスがMerck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.の保有するメリアル社株式を40億USドルの現金で取得し、サノフィ・アベンティスの完全子会社となりました。詳細は、www.merial.comをご参照ください。

Merck の将来に関する記述についての注記

本状は、米国の1995年私的証券訴訟改革法(the Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の免責条項で定義された「将来に関する記述」が含まれています。これらの記述は、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.と旧シェリング・プラウ社の提案された統合による利得に関する記述などが含まれ、将来の財務と営業結果、会社の連結計画、目標、期待と意図、並びに歴史的事実ではないその他の記述が含まれています。こうした記述は、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.の経営陣の現時点での信条と期待に基づくもので、相当のリスクと不確実性が含まれています。実際の成果が、将来に関する記述で述べたものと異なる場合もあります。

とりわけ以下の要因については、将来に関する記述で述べたものと実際の成果が異なる可能性があります: 医薬品業界の規制や医療に関する立法措置、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.と旧シェリング・プラウ社の統合で期待した相乗効果が実現しない可能性、または期待した期間中に実現しない可能性について; 両社の統合が達成できないリスクについて; 取引関係の維持を以前より困難にする統合の途絶について; Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.による将来の市況予測の正確性について; Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.と旧シェリング・プラウ社の特許権や画期的製品の保護の有効性への依存について; 米国や国際的な規制・保健政策の新規制定や変更、並びに訴訟や規制措置の対象となる可能性について。

Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.および旧シェリング・プラウ社は、新たな情報、新たな出来事、その他いかなる状況が加わった場合でも、記述の更新を行う義務は負いません。将来に関する記述の記載と大きく異なる成果を招くおそれがあるこの他の要因については、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.に関するForm 10-Kの2010年度年次報告書、および米国証券取引委員会(SEC)のインターネットサイト(www.sec.gov)で入手できるSECに対するMerck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.のこの他の提出書類で確認できます。

サノフィ・アベンティスの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィ・アベンティスの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィ・アベンティスが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確

実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィ・アベンティスの 2010 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィ・アベンティスが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィ・アベンティスは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。